東濃西部
消費生活相談のあれこれ

NO.9

発行：東濃西部広域行政事務組合

最近の出会い系サイト事情

これまでは「出会い系サイト」というと「男女の出会いの場」としてサイト内でメール交換が行われていると思われていました。しかし、最近は迷惑メールやＳＮＳサイトから「芸能人の悩みを聞いて欲しい」「運気を上げてあげる」「お金がもらえる」などと様々な好奇心や興味をそそられる言葉をきっかけとして出会い系サイトへ誘導する手口が増えています。特に無料ＳＮＳサイトの交流機能等を利用して誘導されるケースでは、ＳＮＳに掲載したプロフィールや日々の書き込みに沿った内容のメッセージが届くため、信用してしまいやすく、注意が必要です。次号では、なぜ出会い系サイトが問題になっているのか、仕組みをお伝えします。

ほんとーにこんな相談ありました

海外ブランドのコピー商品を販売しているサイトでマフラーを注文した。中国から送られてきたが、注文した商品とは違った。交換または返品したいが連絡を取る方法はメールしかなく、返信が来ないので困っている。

アドバイス

海外のサイトから購入する場合、日本の通信販売の法律が適用されません。そのため、返品特約や販売店の詳細が記載されていないことも多くあります。また、コピー商品を海外に向けて発送しようとすると税関でトラブルになる場合があります。交渉も難しいので細心の注意を払わなければなりません。

新規・継続　6月の相談件数

訪問販売	4
電話勧誘販売	6
通信販売	5
利殖商法	4
架空請求	2
多重債務	1
その他	22

「還付金を返還します」と公的機関を名乗る振り込め詐欺」の相談が今もたくさん寄せられています。